

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 タロサ	代表者	長谷川 祐一	法人・事業所の特徴	医療連携が図られ、医療依存の高い利用者様も受け入れ態勢が整っている。緊急依頼にもリアルタイムで受け入れる体制を整備している。同じ事業所が近隣にあり連携や協力体制がとれている。
事業所名	よつらの家	管理者	中根 明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	3人	人	1人	1人	人	5人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価の目的を全職員で共有し目標を明確にする。ミーティング等で具体的な対応案を検討しサービスの質の向上に努める。	サービス評価の目的と全職員で共有し、目標を明確にすることができた。サービスの質の向上を図るため、ミーティング等で対応策を検討し、統一した対応に努めた。	スタッフ間で話し合い、目的と目標を確認し共有されている。また全職員で共有するためミーティングを行い、対応策についても検討し統一した対応ができていると思います。	サービス評価の目的を全職員で再確認し共通認識を深める。検討した対応策は共有しサービスの質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染防止対策の徹底を図りながら、心地よい空間作りに努め季節を感じられるよう環境を整える。	施設内を季節に応じた飾りつけや行事参加毎にコーナー別に写真を展示し、居心地の良い環境作りに努めた。また、行事食を提供し季節を感じられる環境を整えた。	事業所内で過ごすことが多いと思うので各部屋に馴染みの物や、感染があったとしても室内で退屈しない工夫が出来てとても良いと思います。	感染対策に留意し、年間行事計画を立案する。また季節を感じられる環境作りに努め、居心地の良い空間作りを確保する。
C. 事業所と地域のかかわり	感染状況や動向を把握し、感染防止に留意し医療機関や関係機関との連携を深め本人を支える。	コロナ禍において地域活動は自粛したため、かかわりを得ることは困難だった。しかし本人を支える為他の事業所や関係医療機関と情報を共有し連携を図ることができ、緊急時にもスムーズな対応ができるよう構築に努めた。	協力医療機関との連携もしっかり図ることが出来ていると思います。今後も高齢者が多いと思うので医療機関と連携はしっかり行ってください。医療との連携が図れている事業所だと思いますので利用者も家族も安心できると思います。	積極的に地域の資源を活用し、状態の変化にも即時的に対応できるよう整備し、柔軟な支援の提供に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	本人の自宅や地域での暮らしぶりを把握し、地域の資源を活用しとぎれない支援に努める。	本人のこれまでの生活スタイルや人間関係については、本人や家族から情報を得て、必要に応じ地域の資源を活用し支援に努めることができた。	コロナ禍において面会や外出制限の中、地域に出向くことは困難だと思います。本人を支える為、家族との関係がとぎれないよう密に連絡を取り、支援にあたられたと思います。	本人のニーズを把握し必要な支援のため、施設が持つ機能と地域にある機能を適合させ本人を支える支援に努める。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>感染防止対策、災害時の対応について情報を共有し改善策、対応策についても連携を深め検討する。</p>	<p>感染の動向を把握し感染防止対策や災害的の対応について検討し、情報を共有し確認することができた。</p>	<p>現在は開催も困難な状況にある中資料を通してしか活動内容が把握できませんが、避難訓練などはしっかり行っていると思います。今後も感染防止対策や災害時の対応について積極的な取り組みを継続してください。協力できることは協力したいとは思いますが。</p>	<p>感染状況や地域の活動内容を確認しながら、地域の声を傾聴し意見を運営に反映させサービスの質の向上を図る。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>感染防止対策に努め、消防計画に添い避難訓練を実施する。避難経路や内容を再確認しマニュアルを整備し全職員で共有し安全を確保する。</p>	<p>感染防止に留意し、消防計画に添い火災、地震、風水害、津波を想定し避難訓練を実施した。また避難経路はハザードマップで確認しマニュアルに追加整備した。</p>	<p>利用者は移動手段も大変でしょうから日頃からの訓練が必要かと思えます。これからも安全を確保するため感染対策や避難訓練により一層尽力をお願いします。</p>	<p>防災計画に添い、避難訓練を実施し防災、災害対策に取り組む。避難訓練時には地域の協力が得られるよう体制を整え、利用者様の状態や施設の構造について理解が得られるよう連携の強化を図る。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 2 月 1 日 (13:00~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中根 松山 山野邊 佐藤 遠藤 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	0人	0人	9人

前回の改善計画	・本人を支えるために家族、介護者の不安を把握しニーズに応じた支援に努め関係づくりを構築する
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の状態 状況について家族に報告し、現在の状態 今後の状況に何が必要なのか密に連絡を取り検討することができ、関係づくりに努めることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	5	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
入院治療が終了し、利用予定の際にコロナ禍にて家族が面会できず状態が確認できない状況であったため、家族の不安は増大であった。その為病院と密な連絡を取り、現在の状態 状況を家族に伝えニーズについて共有することに努めた。更に本人の情報やニーズについてミーティングを通し、全職員で共有することができた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・状態により意思疎通を図ることが困難な際、声掛けに戸惑う場面があった ・緊急利用開始の場合、情報の整備に不備な点があり、要望の把握に遅れが生じた 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人を支えるため家族、介護者の不安を把握しニーズに応じた支援に努め、全職員で情報を共有する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 1日 (13:00~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中根 松山 山野邊 佐藤 遠藤 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	0人	9人

前回の改善計画	当面の目標を目指した日々のかかわりの中で、実践内容を振り返り次の対応に活かせるよう努める
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の当面の目標を明確にすることができたが、職員間で理解にバラツキがあり、次の対応に時間を費やし、やや遅れが生じた場面があった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	3	2	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	3	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	4	2	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	4	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の生活、社会的背景を把握し本人の当面の目標を明確にすることができた。得た情報は職員間で共有できるようにミーティングや申し送りで確認した	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍のなか、生活面で制限が多く目標を明確にすることはできたが、日々のかかわりの中で実践の際、困難な場面があった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染対策に留意し、当面の目標を目指したかかわりを行い、次の対応に繋げるよう努める	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 1日 (13:00~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 中根 松山 山野邊 佐藤 遠藤 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	3人	2人	0人	9人

前回の改善計画	自宅での生活環境を理解するために以前の暮らし方について把握し、理解したうえで個々の状態に応じた支援に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の自宅での生活環境を理解するために、以前の暮らし方について把握した内容はミーティング等で確認し情報の共有に努めたが、本人の病歴や社会的背景の理解に少々のバラツキがあり、統一した対応を図るため情報の収集や日々の関わり方について再検討をする必要がある

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	3	3	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	4	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	3	3	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	4	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	3	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の状態の変化や状況に応じ、食事形態を検討し提供したり病状に応じた入浴方法や注意点を明確にし、職員間で共有し支援に繋げることができた。また、本人の気持ちや体調の変化に気づいた時は、家族と密に連絡を取り即時的に対応できるよう努めた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の病歴、社会的背景の理解について、ミーティング等で確認をしてみたが、理解にバラツキがあり、自宅での生活環境を理解することが不十分な点があった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の関わりの中かで、情報収集を強化し職員ひとりひとりの意識を高め、以前の暮らし方を理解する。更に生活環境を理解し、個別に応じた支援に努める	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 2日 (13:00~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中根 松山 佐藤 草野 鈴木 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	3人	0人	9人

前回の改善計画	本人の自宅や地域での暮らしぶりを地域の資源を活用し途切れない支援に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	感染防止対策の面から、地域との関係については保つことが困難だったが、今の暮らしを支えるため必要に応じ、地域の資源を活用し支援に努めることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	2	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	3	2	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	3	4	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	2	5	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
生活スタイルや人間関係については、本人や家族より情報を得、これまでの暮らしを理解することができた。また今の暮らしを支えるため、必要に応じ地域の資源を活用し支援に努めることができた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍にて面会や外出制限の中、家族 介護者との関係が途切れないよう密な連絡を取り、支援に努めた。地域との関係については感染予防対策のため、保つ事はできなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
これまでの生活スタイルや人間関係を理解し、感染対策に留意しながら地域の資源を活用し暮らしを支える支援に努める	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 2日 (13:00~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中根 松山 佐藤 草野 鈴木 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	0人	9人

前回の改善計画	本人の状態、ニーズに対する対応を家族の思いも一連のプロセスに関連させ地域の資源を使用し柔軟な支援に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の変化や気付いたことは、ミーティング等で確認し共有することができた。また一連のプロセスに関連させ柔軟な支援に繋げることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	4	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	3	2	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	2	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々のかかわりの中で身体的、精神面の変化に気づいた時は、ミーティング等で共有することができた。また積極的な意見交換ができ記録を整備することで、プロセスが確認でき柔軟な支援に繋げることができた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
更に柔軟な支援が提供できるよう、積極的に地域の資源を活用し状態の変化にも即時的に対応できるよう整備に努める必要がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
積極的に地域の資源を活用し、状態の変化にも即時的に対応できるよう整備し、柔軟な支援の提供に努める	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 2日 (13:00~14:00)

6. 連携・協議

メンバー 中根 松山 佐藤 草野 鈴木 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	4人	0人	9人

前回の改善計画	感染状況や動向を把握し、感染防止に留意し医療機関や関係機関との連携を深め本人を支える
前回の改善計画に対する取組み結果	本人が自宅や地域での暮らしを継続するため、自治体や地域包括センターと連携し本人を支えることができた。地域活動の参加や、施設への地域住民の訪問はコロナ禍のため自粛していた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	3	3	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	4	0	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	2	5	0	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	0	9	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人を支えるため、他の事業所や関係機関と情報を共有し、連携を図ることができた ・緊急時にもスムーズな対応ができるよう、医療機関や他機関と関係を構築できるよう努めた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍において地域の活動やイベントに参加することができなかった。施設内ではイベント等開催したが、地域住民との交流を保つことはできなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染状況や動向を把握し、感染防止に留意し医療機関や各関係機関と繋がりを持ち、本人の暮らしを支える	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 3日 (13:00~14:00)
7. 運営	メンバー	中根 佐藤 長谷川 草野 鈴木 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	3人	0人	9人

前回の改善計画	感染状況や地域内活動の状況を確認し、地域の方からの意見の把握方法を検討し運営に反映できるよう努める
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者、家族、介護者からの意見や要望について傾聴し、職員間で検討した内容を共有しながら、質の向上に努めた。 感染状況から、地域と協働した取組みを行うことは困難だった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	4	2	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	3	2	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	3	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	0	9	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 定期的に行っている介護施設運営全体会議の中で、事業所のあり方や運営について、検討された内容を職員で共有している 利用者、家族、介護者からの意見や要望について、職員間で検討し質の向上に努めた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナ禍にて行動制限から、地域の方との意見交換を持てる場が無かったため、意見を運営に反映することができなかった</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染状況や地域の活動内容を確認し、地域からの声の把握方法を検討し運営に反映できるよう努める	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施
日

令和 5 年 2 月 3 日 (13:00~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

中根 佐藤 長谷川 草野 鈴木 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	3人	0人	9人

前回の改善計画

全職員が情報を共有し、リスクマネジメントに取組みサービスの質の向上に努める

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様の状態に変化が生じた際、ミーティングを行い危機回避するために情報を共有し、統一した対応を取ることでリスクマネジメントに取り組むことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	4	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	5	0	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	4	0	0	9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職場内の研修は、研修委員会のメンバーが中心となり月一回定期的に行っている。参加できなかった職員には資料を用いて説明し内容を確認している。
- ・利用者様の状態の変化に応じ、職場内でミーティングを行い統一した対応に努めることで危機回避ができ、リスクマネジメントに取り組むことができた

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域連絡会の活動には、一定の職員のみ参加することができなかった

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

職員個々のレベルアップに繋がるよう職場内、外の研修を更に強化し、サービスの質の向上に努める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 2月 3日 (13:00~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中根 佐藤 長谷川 草野 鈴木 小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	0人	0人	9人

前回の改善計画	プライバシー保護の観点から言動や行動、自分たちの支援のあり方を振り返り利用者様個々に配慮した対応に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	自分達の言動や行動、支援のあり方について振り返ることでプライバシー保護の厳守について意識を高めることができた。それに伴い、利用者様個々に配慮した対応に努めることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない (分からない)	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	0	0	0	9
②	虐待は行われていない	9	0	0	0	9
③	プライバシーが守られている	4	4	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	/	/	/	/	/
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待防止について勉強会を行い、職員間で共通認識を持ちケアに努めることができた ・個人情報保護について法令遵守の勉強会で目的や適切な対応内容を学び、日々の業務に携わるよう心掛けた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個々の利用者様に応じた言葉かけや、プライバシーを損なわないよう対応に心掛けたが、トイレ誘導時 本人、他利用者様に配慮が欠けた場面があった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の言動、行動、ケアの内容を振り返り、利用者様のプライバシー保護に努め、個々に配慮した対応を実践する	